

### 白石市小中学校の将来構想について

松野久郎



8月25日開催の全員協議会における「白石市小中学校将来構想」についての説明内容を踏まえ質問する。

【質問】検討委員会の委員の選定方法について伺う。また、統廃合の該当校の学区の方も参加しているのか伺う。

【答弁】【教育長】白石市小中学校あり方検討委員会設置条例第3条の規定に基づき、学識経験者・保護者代表・地域代表・学校代表から委員を選定し、委嘱または任命している。該当する学区からも参加いただいている。【質問】今後の具体的なアクションプランの内容について伺う。

【答弁】【教育長】10月の「広報しろいし」に記事を掲載する。

また、10月中に現在対象になり得る地域、具体的には、越河小学校・斎川小学校・白川小学校、小原中学校・南中学校、白川中学校で保護者説明会を開催し、その後、今年度中に対象地区において、地域の方への説明会を行いたいと考えている。

【質問】統廃合後の通学における具体的な計画について伺う。

【答弁】【教育長】現在、計画はしていないが、統廃合が行われる場合は、当然、検討していくことになる。

【質問】各小学校区の子ども会育成会や地域との関わり合い等について、どのように考えているのか伺う。

【答弁】【教育長】どの

学年で、どの時期に行っても必ず起こり得る問題であると考えている。

【質問】統廃合後の通学における具体的な計画について伺う。

【答弁】【教育長】現在、計画はしていないが、統廃合が行われる場合は、当然、検討していくことになる。

【質問】各小学校区の子ども会育成会や地域との関わり合い等について、どのように考えているのか伺う。

【答弁】【教育長】この学校に通学しても、地域の子どもはあくまで地域の子どもであり、地域との関わりは変わるものではない。

【質問】助成制度の対応年齢を引き上げる考えはないのか伺う。

【答弁】【市長】子ども

### 子ども医療費助成制度について

佐藤龍彦



子どもがけがをした

【質問】この制度には所得制限があり、助成を受けられない世帯もある。近隣の町では、子育て支援や定住促進のため、所得制限を撤廃しているところもある。

【答弁】【市長】一定の所得がある方には負担をいただきながら、撤廃については、慎重に検討しなければならぬと考えている。やはり、医療費の助成が、市や

【質問】国保財政調整基金の一部を取り崩して、国保税の引き下げを実施できないのか伺う。

町競争になってはいけないと考えている。◎国民健康保険税について 【質問】平成27年度の本市の保険者支援金の交付額について伺う。 【答弁】【市長】現時点での試算では、約4千94万円である。 【質問】この支援金による軽減策は検討しているのか伺う。 【答弁】【市長】現時点でも低所得者への軽減策（7割・5割・2割軽減）を行っている。支援金の活用は、今後、軽減策も含め検討していきたい。 【質問】国保財政調整基金の一部を取り崩して、国保税の引き下げを実施できないのか伺う。 【答弁】【市長】現在、本市の月平均医療給付額は、約2億2千600万円である。医療費がなかなか抑えられない状況にもあるが、引き下げが可能かどうか検討を重ねていきたい。